平成２３年度

金沢市埋蔵文化財調査年報

平成２４年３月
（２０１２年）

金　　　沢　　　市
（金沢市埋蔵文化財センター）

例　　言

1．本書は、金沢市都市政策局歴史遺産保存部文化財保護課および金沢市埋蔵文化財センターが平成23年度に行った埋蔵文化財保護行政の概要、成果および結果を公表することを目的として刊行するものである。

2．本書は、平成23年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、分布調査、および教育・普及・啓発活動に関することを中心に編集したものである。

3．本書に掲載した埋蔵文化財の遺構・遺物等の写真は、それぞれの担当者が撮影した。

目　　次

1．埋蔵文化財発掘調査等事業 ……………………………………… 1

2．埋蔵文化財分布調査事業 ………………………………………… ２８

3．教育・普及・啓発活動事業 ……………………………………… ３３

4．組織 ………………………………………………………………… ３８

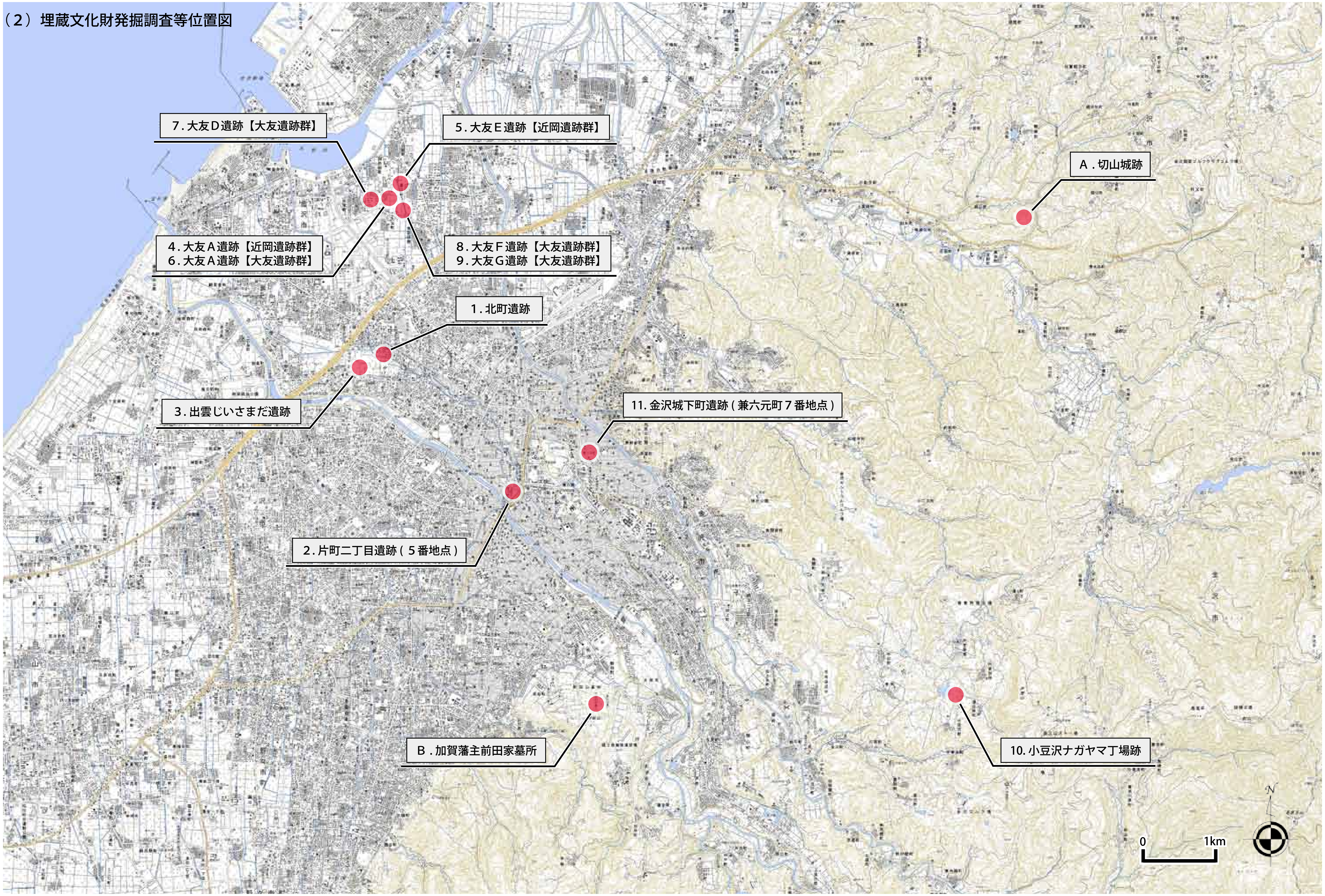
1．埋蔵文化財発掘調査等事業

（1）埋蔵文化財発掘調査等一覧

№	調 査 地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費（千円）	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
緊急発掘調査										
1	北町遺跡（きたまち）									
	金沢市 北町乙地内	140 ㎡	宅地造成 （民　間）	20110418 ～ 20110502	沖積地	622	6 箱	弥生　古代	ピット　溝　川	弥生土器　須恵器 石製品
2	片町二丁目遺跡（かたまちにちょうめ）（５番地点）									
	金沢市 片町二丁目地内	200 ㎡	施設建設 （公　共）	20110506 ～ 20110816	扇状地	6,051	25 箱	江戸	井戸　石室　土坑 石積	近世陶磁器　土器 石製品　金属製品
3	出雲（いずも）じいさまだ遺跡									
	金沢市 出雲町、桜田町地内	2,220 ㎡	小学校新築移転 （公　共）	20110512 ～ 20110905	扇状地	20,232	90 箱	弥生　古墳 平安	掘立柱建物　土坑 平地式建物　井戸 溝　大溝	弥生土器　土師器 須恵器　木製品 石製品　管玉　勾玉
4	大友（おおとも）Ａ遺跡【近岡遺跡群】									
	金沢市 近岡町地内	230 ㎡	道路建設 （公　共）	20111219 ～ 20120123	沖積地	30,184 （5 と合算）	3 箱	弥生　古墳 古代　中世	ピット　土坑　溝	弥生土器　土師器 須恵器　陶磁器　石製品 木製品
5	大友（おおとも）Ｅ遺跡【近岡遺跡群】									
	金沢市 近岡町地内	2,570 ㎡	道路建設 （公　共）	20110628 ～ 20120123	沖積地	30,184 （4 と合算）	110 箱	縄文　弥生 古墳　古代 中世	掘立柱建物 ピット　土坑　溝 川	縄文土器　弥生土器 土師器　須恵器　陶磁器 石製品　金属製品 木製品
6	大友（おおとも）Ａ遺跡【大友遺跡群】									
	金沢市 大友町ハ、ニ地内	5,373 ㎡	区画整理 （民　間）	20110721 ～ 20111227	沖積地	48,300 （7 と合算）	50 箱	弥生　古墳 古代　中世	溝　平地式建物	土師器　須恵器　石製品 木製品　陶磁器
7	大友（おおとも）Ｄ遺跡【大友遺跡群】									
	金沢市 大友町ハ地内	306 ㎡	区画整理 （民　間）	20110801 ～ 20110902	沖積地	48,300 （6 と合算）	3 箱	弥生　古代 中世	溝　方形周溝墓	弥生土器　土師器 須恵器　陶磁器　石製品 木製品　管玉
8	大友（おおとも）Ｆ遺跡【大友遺跡群】									
	金沢市 大友町ニ地内	4,322 ㎡	区画整理 （民　間）	20110721 ～ 20120323	沖積地	33,329 （9 と合算）	33 箱	古墳　古代	掘立柱建物　井戸 平地式建物　柵列 区画溝	土師器　須恵器　石製品 木製品　玉類未製品
9	大友（おおとも）Ｇ遺跡【大友遺跡群】									
	金沢市 大友町ニ地内	518 ㎡	区画整理 （民　間）	20120301 ～ 20120323	沖積地	33,329 （8 と合算）	12 箱	古墳　古代	溝　ピット	土師器　須恵器　石製品 木製品
10	小豆沢（あずきさわ）ナガヤマ丁場跡									
	金沢市 俵町地内	3,500 ㎡	土砂採取 （公　共）	20111024 ～ 20111214	丘陵	11,130	1 箱	江戸	戸室石採掘孔	戸室石石材
11	金沢城下町（かなざわじょうかまち）遺跡（兼六元町（けんろくもとまち）７番地点）									
	金沢市 兼六元町地内	723 ㎡	雨水貯留施設 埋設（公共）	20111112 ～ 20120209	扇状地	8,210	68 箱	古墳　江戸	大溝　井戸　土坑 溝　石組溝	土師器　陶磁器　土器 瓦　木製品　石製品 金属製品

№	調 査 地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費（千円）	出 土 遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
学 術 調 査										
A	切山城跡（きりやまじょうあと）									
	金沢市 桐山町、宮野町地内	170 ㎡	学術調査 （公　共）	20111108 ～ 20111216	丘陵	1,766	1 箱	中世	礎石建物　ピット 土坑　堀	土師器　石製品 金属製品
B	加賀藩主前田家墓所（かがはんしゅまえだけぼしょ）　※史跡整備に伴う発掘調査									
	金沢市 野田町野田山地内	30 ㎡	学術調査 （公　共）	20111108 ～ 20111207	丘陵	1,360	－	江戸	石廟基礎 参道跡	－

（2）埋蔵文化財発掘調査等位置図



（3）埋蔵文化財発掘調査概要

1．北町（きたまち）遺跡

（遺跡番号　県：01200　市：150J）

所 在 地：金沢市北町乙地内

北緯　36°34′53″

東経 136°37′39″

調査面積：140㎡

種　　別：集落跡

主な時代：弥生、平安

担　　当：向井 主任主事

■ 遺跡の概要

本調査は民間事業者の宅地造成によるものであり、宅地造成部分は盛土による埋蔵文化財の保護が可能であったため、道路部分のみ調査を実施した。

遺跡は金沢平野の北部、犀川と浅野川の下流域に形成された沖積平野の一角に位置している。周辺の地形は平坦で湿潤、土壌は粘土質で耕作に適した環境といえ、周辺には遺跡が集中して見つかっている。

平成 19 年度に西側隣接地を発掘調査しており、弥生時代終末期の溝や井戸、柱穴などが見つかっている。今回も同時期の遺物が出土しているので、集落の範囲がさらに東へ延びることが明らかとなった。

調査区内で微地形を確認しており、平成 19 年度調査箇所に隣接する西側の方が地盤の高さが高く、東に向かって徐々に低くなっている。川や溝、穴などの遺構が検出されたが、建物跡は未検出であり、徐々に標高が低くなっていることから集落域の縁辺に位置するものと考えられる。

調査区の大半は川で占められており、西岸と東岸を検出している。川は幅 13 ～ 14 m程で深さは 0.5 ～ 0.8 m程を確認しているが、西岸付近が最も深く、必ずしも中央が深いというわけではない。土層観察から、ほとんど流れはなく、淀んだ状態であったと考えられる。

川の堆積土中からは弥生時代終末期頃の土器が多く出土しており、緑色凝灰岩の破片も共伴している。これらの遺物は川の中央から西岸にかけて多く出土しており、西側を調査した平成 19 年度の調査では井戸などが見つかっていることからも、西岸側に集落の中心部分が位置するものと考えられる。

川の東岸から東側約 2 mのところに川と平行して南北に延びる溝を検出している。溝の幅は 2.2 ～ 2.3 m程で、深さは 0.2 m程と浅い。遺物はほとんど出土していないが、弥生土器片や緑色凝灰岩片、平安時代の須恵器などが出土している。須恵器は混入によるものと思われるが、近隣に平安時代の集落が分布している可能性を示すものといえる。

このほか、管玉の未製品が出土していることから、玉造関連遺跡と考えられる。周辺には出雲じいさまだ遺跡や桜田・示野中遺跡などの玉造遺跡が分布しており、関連性が指摘できる。従来縄文時代の遺跡として知られていたが、平成 19 年度と今回の調査により、弥生時代終末期頃の玉造関連遺跡としての評価が可能になったといえよう。

溝

川調査状況

川調査状況

土器出土状況 (川)

土器出土状況 (川)

土器出土状況 (川)

調査区全景

調査区全景

2．片町二丁目遺跡（5番地点）

（遺跡番号　新発見のため番号なし）

所 在 地：金沢市片町二丁目地内
北緯　36゜33′39″
東経 136゜39′08″
調査面積：200㎡
種　　別：城下町
主な時代：江戸
担　　当：庄田 主任主事

■ 遺跡の概要

本遺跡は金沢城から見て南西方向、金沢市街地中心部の繁華街である片町２丁目に位置する。現在の片町は、旧北国街道に沿って発達した藩政期の片町および旧川南町の町家、木倉町通り沿線の旧出大工町などの町家、犀川に沿って発達した町家、街区内に展開した武家屋敷や寺を含み、遺跡の所在する片町２丁目５番街区は、城下絵図で確認できる寛文七年（1667）以降、北国街道北西に並行する裏通りに面して展開していた藩主前田家直臣の武家屋敷地となっていた。

本調査では、歴史建造物整備課が計画した「金沢まちなか学生交流拠点整備事業」として、調査地に隣接する大正建築の佐野家住宅（金沢市指定保存建造物）改修と併せ建築されることとなった交流ホール（仮称）建築工事にともない、基礎工事等で遺跡が損壊する範囲を発掘調査した。

■ 調査の概要

発掘調査では、屋敷境と推定される複数の石積みの溝や石垣、石積みの井戸２基、石積みによる側壁及び階段をともなう地下室、石積みを伴う池状土坑、寛永大火（1631 年または 1635 年）由来と推定される焼土・炭および焼損遺物を片付けた土坑、礎石建物、ゴミ穴等が検出され、中国磁器、肥前陶磁器（伊万里焼・唐津焼）を中心とした国産陶磁器、在地産土師器皿（おもに灯明皿として使用）、土製・石製の火鉢、銅製の煙管等が出土した。基盤層が礫で水はけが良い環境だったため、木製品の遺存状態は良くなかった。

遺構断面および土層は実測で記録した。調査区平面および石積遺構の平面・立面については、デジタルカメラを使用して図化用補正写真を作成した。

石積みの井戸と溝

石室

3．出雲じいさまだ遺跡

（遺跡番号　県：01100　市：160H）

所 在 地：金沢市出雲町・桜田町地内
　　　　　北緯　36° 34′ 46″
　　　　　東経 136° 37′ 23″
調査面積：2,200㎡
種　　別：集落跡
主な時代：弥生・古墳・平安
担　　当：前田 主任主事

■ 遺跡の概要

平成22年度に行った発掘調査の続きで、今回で完了となる。調査期間中に、「金沢こども歴史探検隊」による発掘体験と、一般向けの現地説明会を行った。

弥生時代の遺構は、昨年度と同じく、地山と酷似した埋土を持つ浅く細い溝のみである。古墳時代前期の遺構に切られており、ごく短い範囲しか検出できなかった。

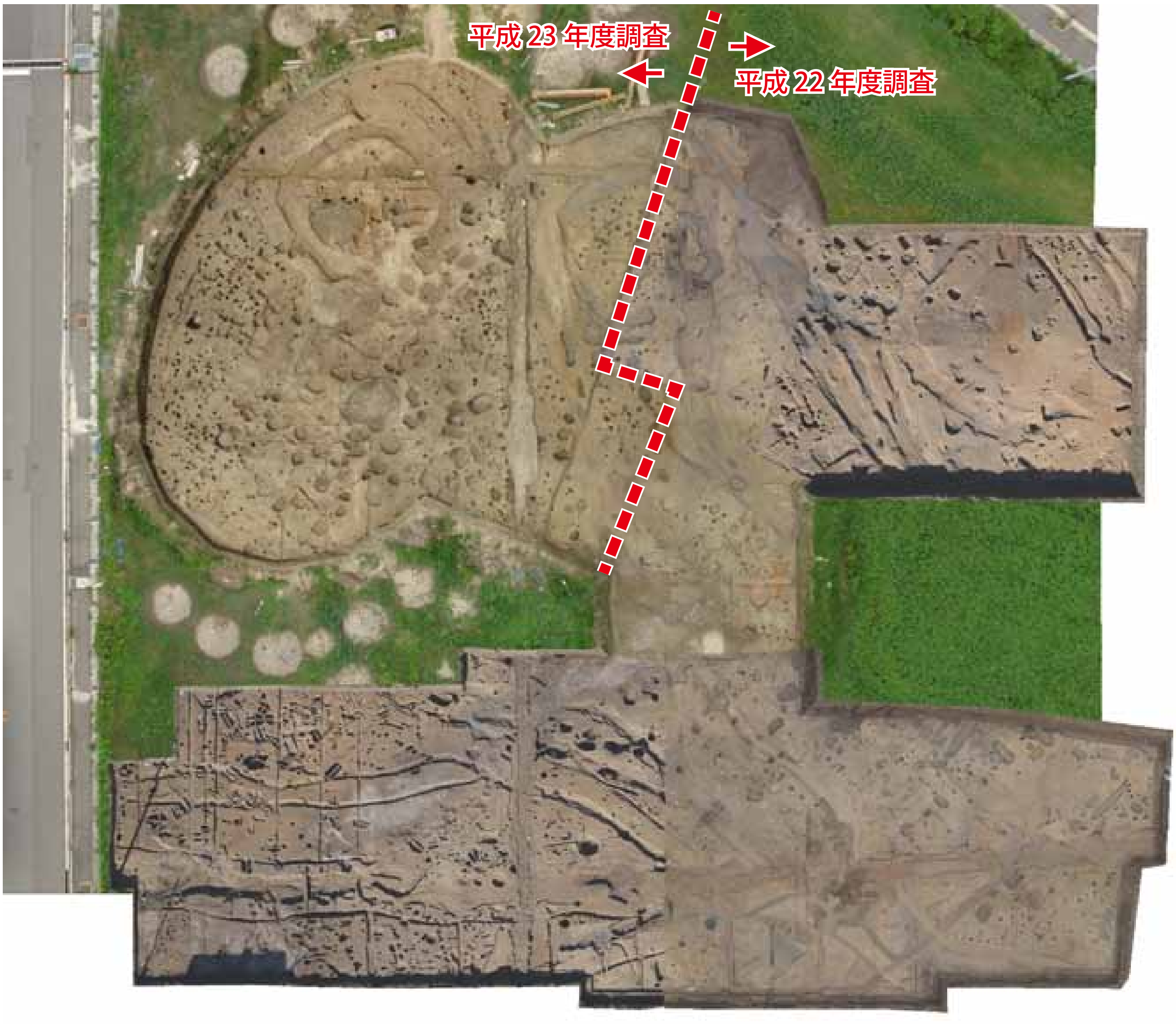
古墳時代前期の遺構には、平地式建物３棟、掘立柱建物 15 棟、土器埋納土坑、井戸、溝などがある。平地式建物は昨年度検出された１棟と一直線上に並ぶ位置にあり、隣り合う平地式建物の間は溝で分断されている。棟柱は正方形に配置され、柱穴に礎板が残っているものもある。周溝には土器が廃棄されていた。掘立柱建物は平地式建物の南側に、それと重ならずに分布していた。掘立柱建物の周囲には土坑が密に分布しており、昨年度同様、その中から緑色凝灰岩の管玉、同未成品、剥片が検出された。他にも勾玉１点、ガラス玉１点が出土した。写真の埋納土坑は数少ない長楕円形を呈しており、ある掘立柱建物のそばに並行に配置されている。溝には大量の土器に混じって、砥石や台石も出土した。

平安時代の遺構ははっきりしないが、攪乱などから当該期の須恵器が少量出土している。

砥石の出土状況

土器埋納土坑

平地式建物



調査区全体（平成 22・23 年度分合成、上が北）

4．大友(おおとも)Ａ遺跡【近岡(ちかおか)遺跡群】

（遺跡番号　県：01295　市：042N･H）

所 在 地：金沢市近岡町地内
北緯　36゜36′16″
東経 136゜37′46″
調査面積：230㎡
種　　別：集落跡
主な時代：弥生、古墳、古代、中世
担　　当：向井 主任主事

■ **遺跡の概要**

大友Ａ遺跡は金沢市の北西部、大野川河口に所在する金沢港から約 1㎞内陸に入った場所に位置する。周辺には大友Ｄ、Ｅ、Ｆの各遺跡が広がっている。

調査は都市計画道路・福久福増線（海側幹線側道）建設工事に伴い、道路敷き部分について実施したもので、隣接地では区画整理に伴う調査も行われている。

古墳時代前期頃の土坑と溝が検出された。土坑には甕などの土器が集中して出土したものや、井戸状に深いものが見つかっている。調査区が狭小なこともあって、詳細は不明ながら、古墳時代の集落の一端が検出されたものと考えられる。

調査区全景

ＳＫ０１

ＳＫ０２

5．大友Ｅ遺跡【近岡遺跡群】

（遺跡番号　新発見のため番号なし）

所 在 地：金沢市近岡町地内
北緯　36゜36′23″
東経 136゜37′51″

調査面積：2,570㎡

種　　別：集落跡

主な時代：縄文、弥生、古墳、古代、中世

担　　当：向井 主任主事

■ 遺跡の概要

大友Ｅ遺跡は金沢市の北西部、大野川河口に所在する金沢港から約 1㎞内陸に入った場所に位置する。周辺には大友Ａ、Ｆ遺跡や直江西、ニシヤ遺跡など広がっている。

調査は都市計画道路・福久福増線（海側幹線側道）建設工事に伴い、道路敷き部分と仮設水路造成部分について実施している。なお、隣接地では区画整理に伴う調査も行われている。

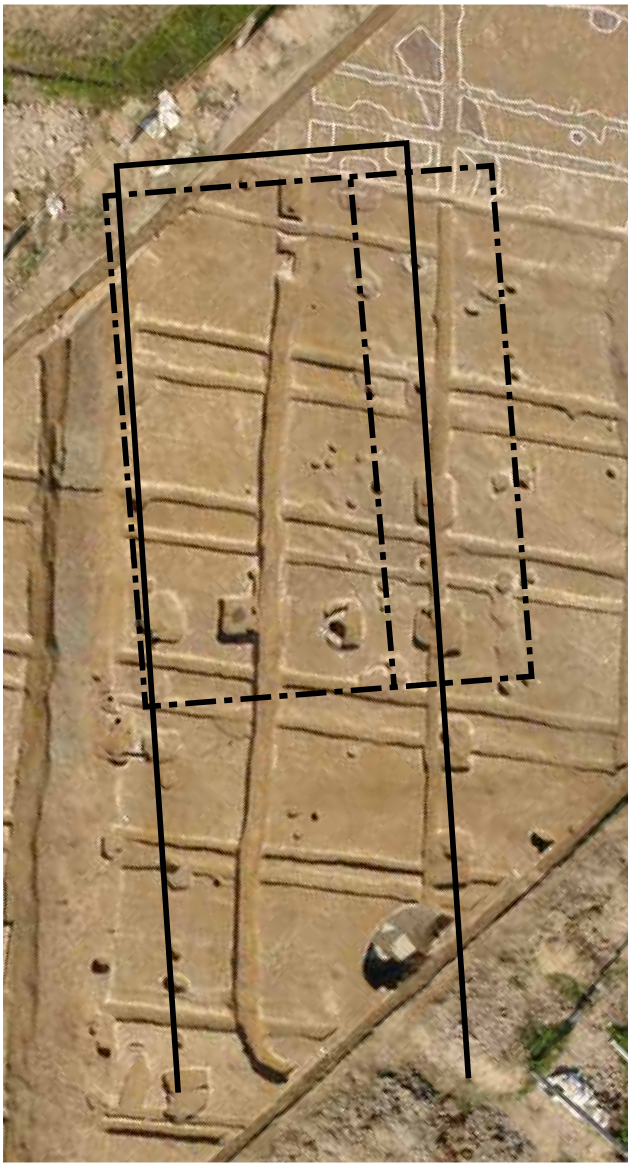
本遺跡は、金沢市副都心北部大友土地区画整理事業に伴う試掘調査によって、平成 20 年に大友町地内で発見されたが、今回の道路工事に伴う試掘調査によって、近岡町地内にも遺跡が広がっていることが確認された。これまでに、縄文時代から室町時代の遺跡であることがわかっている。

縄文時代晩期後半以降の遺構や遺物が確認されているが、主なものとして、弥生時代、古墳時代、平安時代の調査成果について概略を述べる。

弥生時代では、中期後半～終末期頃の溝や川から弥生土器や赤彩桶・弓などの木製品が出土している。建物遺構は未確認ながら、豊富な遺物量から近隣に集落が所在することは疑いない。

古墳時代では前期～中期頃の布柱建物や掘立柱建物、方形土坑、溝、川を検出しており、土師器や須恵器の他、鍬形石や管玉、臼玉、棗玉などの石製装飾品が出土している。特に鍬形石の出土は特筆すべきもので、製品か未製品かの判断が難しいが、製品であれば通常は古墳から出土するものであり、集落からの出土は珍しいといえよう。摩滅が少ないことから流通前の製品の可能性があり、本遺跡から流通した可能性も考えられる。

平安時代では、主に 9・10 世紀頃の建物や川が見つかっている。建物は大型柱穴の掘立柱建物で、柱間 8 間以上× 3 間の大型建物と柱間 4 間× 2 間に庇が 1 間分つく建物が見つかっている。川からは土師器や須恵器、砥石などの石製品、土錘などの土製品、形代などの木製品の他、比較的多くの墨書土器が出土しており、大量の「秋」墨書の他、「庄」、「田」、「西」、「大」、「真」などがある。また緑釉陶器や灰釉陶器なども定量出土しており、建物の規模と考え合わせると、公的機関か荘園などの施設の可能性が考えられる。


平安時代の大型掘立柱建物

墨書土器「庄」
右は赤外線写真

鍬形石

緑釉陶器

墨書土器「秋」

多文字墨書土器

6．大友（おおとも）Ａ遺跡【大友遺跡群】

（遺跡番号　県：01295　市：042N•H）

所 在 地：金沢市大友町ハ・ニ地内
北緯　36゜36′14″
東経 136゜37′45″
調査面積：5,373㎡
種　　別：集落跡
主な時代：弥生・古墳・古代・中世
担　　当：景山 主査

■ 遺跡の概要

平成 23 年度の発掘調査は、街路部分及び街区部分のうち区画整理事業の工事により遺構が損壊するおそれのある範囲について実施した。調査区は施工中の街路と既存道路によって分断されていることから、A1 区から A6 区までを設定した。

A1 区・A2 区・A4 区は市道から西側に位置する調査区で、遺構検出面はおよそ 20cm と浅く、耕地整理の段階で遺跡の上面が削平されており、遺構は全体的に少なめであった。出土遺物は少ないながら、古代～中世の時期が中心となる。

最も北側に位置する A3 区では流路や溝を確認し、土師器の甕、高坏、壺など、古墳時代前期の遺物が多く出土したほか、舟形木製品が出土している。

市道の東側に位置する A5 区では、流路や土坑、溝などが確認された。遺構の年代は古墳時代前半から古代のものが主体である。流路は大きく 2 条あり、北側の流路は幅 7 mの規模で、複数の溝がこの流路に接続する。流路中央の両岸で堰状の施設と考えられる杭列が確認された。付近からは須恵器杯、甕、舟形木製品が出土している。流路の南側では下層を中心に、古墳時代前期の加飾された器台や壺、木製品が多く出土した。南側の流路は南東方向を主軸として流れ、隣接する A6 区の流路に繋がると考えられる。ここからは刳物の桶や建築材、槽、曲物、弓など、多量の木製品が出土した。調査区中央付近の土坑は竪穴状で、規模はおよそ 8 m× 5 m、完形に近い布留系の土師器甕、有段口縁をもった土師器甕などが出土した。

A6 区は市道の東側、A5 区の南側に位置する。掘立柱建物、平地式建物、流路、溝などが確認された。時期としては弥生時代末～古墳時代が主体と考えられる。掘立柱建物は 2 棟確認され、建物 1 は 1 間× 2 間、建物 1 は調査区外へと続き詳細不明だが、4 間× 1 間以上の規模と推定される。平地式建物は周溝のみの検出で、8 m× 7.5 mの規模である。弥生時代末の遺構と考えられる。流路は複数が切りあっており、このうち南東方向に延びる流路は幅約 3 mの規模で、土師器甕や高坏など古墳時代前期の土器が多量に出土したほか、舟形木製品や曲物などがみつかっている。

平成 23 年度調査では、中世の遺物が少量ではあるが出土しており、この遺跡の存続期間が当該期まで続くことが明らかとなった。流路に設けられた堰は、両川岸から半円状に張り出した形で作られており、人為的に川幅を狭くしており興味深い。この流路からは昨年度調査に引き続き大量の木製品が出土しており、当時の生活を知るうえで重要な資料となる。

A5 区・A6 区全景（南東から）

平地式建物（A6 区）

北側流路の杭列群（A5 区）

木製品出土状況（A5 区）

土器出土状況（A5 区）

7．大友（おおとも）D遺跡【大友遺跡群】

（遺跡番号　新発見のため番号なし）

所 在 地：金沢市大友町ハ地内
北緯　36°36′14″
東経 136°37′34″
調査面積：306㎡
種　　別：集落跡
主な時代：弥生・古代・中世
担　　当：景山 主査

■ 遺跡の概要

平成 22 年度に調査した地区に隣接し、一部検出されていた方形周溝墓の全容が明らかになったほか、溝など弥生時代末期から中世までの遺構を確認した。

方形周溝墓はおよそ 11 m× 10 mの規模で、周溝の四隅が途切れるタイプのものである。東側の周溝の底から細やかに調整された緑色凝灰岩製の管玉 31 点が出土したほか、東側の周溝からは弥生時代末の高坏が出土している。祭祀・供献されたものと判断され、当時の風習を考察するうえで貴重な資料となった。

調査区全景（南東から）

管玉出土状況（方形周溝墓）

土器出土状況

土器出土状況（方形周溝墓）

８．大友(おおとも)Ｆ遺跡【大友遺跡群】

（遺跡番号　新発見のため番号なし）

所 在 地：金沢市大友町ニ地内
北緯　36゜36′10″
東経 136゜37′53″
調査面積：4,322㎡
種　　別：集落跡
主な時代：古墳・古代
担　　当：景山 主査

■ 遺跡の概要

街区部分のうち、区画整理事業工事により遺構が損壊するおそれのある範囲について発掘調査を実施した。調査区は平成 22 年度調査区の南北に分かれ隣接する。区域ごとに 6 区を設定した。

１区は平成 22 年度調査における F-2 区の南西に隣接する。昭和における耕地整理に伴って水田の土壌改良を目的とした天地返し（攪乱）が大規模に行われており、遺跡の残存状態は良好とはいえないが、平成 22 年度調査で確認されていたＬ字に屈曲する溝の延長がみつかり、これが方形に巡ることが確認された。館の区画溝と考えられる。規模は内法で 1 辺約 23 m、区画の内側には柵列とも考えられる溝と穴が伴っていたようである。区画溝の中からは大量の土器と木製品が出土した。土器は古墳時代前期のもので、木製品の中には焼け跡のある柱根、柱と考えられる部材のほか、木製の容器、さらには扇状に出土した用途不明の棒状木製品群がある。棒状木製品については滋賀県下之郷遺跡で類似の棒状木製品が出土しており、屋根飾りではないかと考えられているが、さらなる検討を要する。また、この調査区からは緑色凝灰岩製の管玉未製品、石釧（石製の腕輪）の未製品などが多く出土しており、剥片が埋められたピットが検出されている。

２区は平成 22 年度 F-2 調査区の北に隣接する。この調査区では古墳時代前期および平安時代の掘立柱建物のほか、平安時代の川跡が検出された。川跡からは須恵器のほか人形が出土している。

３区は平成 22 年度 F-1 調査区の南、平成 23 年度 1 区および 2 区の西側に隣接する。この調査区では古墳時代前期に属する多くの掘立柱建物のほか、平地式建物が検出された。この調査区の西寄りには落ち込みがあり、これより西側には遺跡は展開しないようである。落ち込みに並行して走る平安時代の溝も検出されている。

平成 22 年度の調査を補完する成果がでたといえ、特に古墳時代前期の区画溝の全容が確認できたことは大きな成果といえる。この区画溝の持つ性格は今後の検討課題となるが、その規模からこの遺跡は当時大きな勢力をもった集落であったと考えられる。また、緑色凝灰岩製の玉類未製品が大量に出土したこと、かつ、玉類の完成品が出土していないことは、同時期の玉類大規模生産施設としての性格を示しているものと考えられる。さらに遺跡全体としては、自然地形の落ち込みを集落の境界として使っているなど、当時の集落構造を知るうえで貴重な例となる。

平成 24 年度には東側隣接地の調査を行う予定であり、遺跡の全容解明が期待される。

１区全景（南東から）

区画溝（１区）

土器・木製品出土状況（１区）

調査風景（奥は鞍月小学校）

9．大友（おおとも）Ｇ遺跡【大友遺跡群】

（遺跡番号　新発見のため番号なし）

所 在 地：金沢市大友町ニ地内
北緯　36°36′10″
東経 136°37′49″
調査面積：518㎡
種　　別：集落跡
主な時代：古墳・古代
担　　当：景山 主査

■ 遺跡の概要

大友Ｇ遺跡は平成 23 年 10 月に行った土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財試掘調査で新たに発見された遺跡である。原因者との協議の結果、早急な発掘調査が必要と判断され、同年度内での緊急発掘調査を行った。

平成 23 年度の発掘調査では、主な遺構として古墳時代前期の溝２条、平安時代の溝２条がみつかった。古墳時代の溝の底面では湧水があり、底近くの砂層から多くの土器が出土している。平安時代の溝跡からは、墨書されたものを含む須恵器の坏や蓋が出土した。柱穴もいくつかみつかったが、明確な建物像は不明となっている。平安時代の溝のうち１条は方向を南北にとっており、規格性の高い集落が周辺に展開していることが予想される。

調査区全景（北西から）

古墳時代の溝と古代の溝

土器・木製品出土状況

石鏃出土状況

10. 小豆沢(あずきさわ)ナガヤマ丁場跡(ちょうばあと)

（遺跡番号　新発見のため番号なし）

所 在 地：金沢市俵町地内
北緯　36° 31′ 50″
東経 136° 44′ 02″
調査面積：約 3,500㎡
種　　別：生産遺跡（石切丁場）
主な時代：江戸
担　　当：庄田 主任主事

■ 遺跡の概要

金沢城の石材を供給した戸室石切丁場は、金沢城から東へ約 12km ほどに位置する標高 547m の火山、戸室山の西側山麓に広がる岩屑なだれ堆積地帯に形成されている。戸室石と呼ばれる赤色または青色の安山岩は、この岩屑なだれ堆積層中に転石の状態で埋没しており、採石作業は地表で確認できる原石露頭をみつけ、周囲の土砂を石の下まで除去して原石の全形を露出させることで行われた。また、大形の原石は、採石場で列点状の矢穴（くさび穴）を掘って矢（くさび）を打ち込み、必要な大きさ・形状に粗割りした。そして、石ノミで割れ残った突起部を削り均して仕上げ、最後に石材の正面（もっとも見やすい位置）に刻印を刻んだ。石切丁場ではこのように原石の採掘から石材加工までの作業が一貫して行われていた。

戸室石切丁場の分布調査は、石川県が中心となって実施し、16 世紀末～ 17 世紀初め（文禄・慶長頃）…Ⅰ期、17 世紀前半（慶長・元和頃）…Ⅱ期、17 世紀前半（寛永頃）…Ⅲ期、17 世紀後半（万治、寛文）および 18 世紀後半（宝暦）以降…Ⅳ期に時期区分でき、各時期で丁場の分布が移動し、採掘孔の規模が変化することを明らかにした。この中で、小豆沢ナガヤマ丁場跡はⅡ期（慶長・元和頃）の丁場の分布域にあたり、小形採掘孔を中心とした石切丁場である。ただし、近代に入ってから民間業者による大規模な掘削・採掘が行われたため、調査区のうち約 1,400㎡は大形の採掘土坑群により削り取られていた。

本調査は、農業総務課が施工するふるさと農道整備事業（平等本・小豆沢地区）にともない、調査地の土砂採取が計画されたため、記録保存のために実施したものである。

■ 調査の概要

調査地は比高差約 15m の南北に長い独立した丘陵で、土砂採取の対象となった調査地の範囲は、南北約 100m、東西約 25 ～ 40m を測る丘陵の西および北斜面である。調査地はコナラ・クヌギを中心とした高木の樹間に、クリ・モミジ・シラカシ等の中木が茂り、林床をサカキ等の低木やクマザサが埋め尽くしていたため、はじめに、委託業者による中・低木の伐採および下草刈りを行った。

また、現況地形が掘削排土により改変する可能性が予想されたため、発掘に先立ち電子平板による地形測量を実施した。併せて、調査地全体を改めて踏査し採掘孔の精査を行ったところ、調査地内で約 40 箇所の小形採掘孔およびおびただしい原石露頭、2 箇所の大形採掘孔群および 4 箇所の大形採掘孔を確認した。

採掘孔が密集している上、高低差の著しい地形条件であったため、発掘調査は踏査で発見した小形採掘坑から優先的に掘削・記録していくことになり、大形採掘孔については一部をサンプル的に発掘

調査した。また、調査区の斜面中程には幅約2mの細長い平坦面があり、作業用の通路と考えられたが、発掘を進めたところ、平坦面を形成していた盛り土下からも小形採掘孔が検出された。

発掘調査の結果、小形採掘孔46基、大形採掘孔約10基が検出され、多数の原石のうち3個に石ノミによる刻印（2種類）を確認した。小形採掘孔では、北側の採掘孔を中心に原石が取り去られたものがみつかったが、大多数の採掘孔では原石は全形を掘り出したままか、矢割り工程までであった。調査地からの搬出路は、尾根北西の緩やかな谷部から西側斜面にかけてと推定され、石引道に近い北側から採掘が進んだものの、全ての露頭の採掘に至らず丁場として放棄されたと考えられる。

発掘調査した採掘孔については、改めて部分的に電子平板により遺構形状を測量した。小形採掘孔の断面形状および原石の立面については、実測により記録した。

また、大形の原石が残る採掘孔については、デジタルカメラによるポール撮影および立面の撮影を行い、補正ソフトをもちいて、図化用補正画像を作成した。

中央下段の小形採掘孔群と矢穴のある原石

南側中段の小形採掘孔と矢穴のある原石

中央中段の小形採掘孔群と通路状平坦部

中央尾根上の刻印のある原石

中央下段の刻印のある原石

南側中段の刻印のある原石

戸室山と石切丁場

11. 金沢城下町遺跡（兼六元町７番地点）

（遺跡番号　県：なし　市：なし）

所 在 地：金沢市兼六元町地内
　　　北緯　36゜33′59″
　　　東経 136゜39′57″
調査面積：723㎡
種　　別：集落跡・屋敷跡
主な時代：古墳・江戸
担　　当：前田 主任主事

■ 遺跡の概要

調査地は現在、小学校の運動場である。金沢城にごく近く、近世には武家地の一郭であった。絵図面には、時期によって異なる２～４軒の武家の敷地が描かれている。調査区の表土・盛り土の直下にれんが積みの構築物が広がっており、旧校舎の基礎と考えられる。このため、二面あると考えられていた近世の遺構面一面と整地層の半ばが壊されている。遺構面には近世の遺構と古墳前期の遺構が共存していた。

古墳時代前期の遺構に１条の大溝がある。埋土上層に完形に近い土器や礫が点在していた。

近世の遺構は 17 ～ 19 世紀の遺物を含むもので、井戸３基、大小の土坑 90 基余り、石組溝１条がある。井戸は素掘りと石組みがある。土坑のうち大型のものはゴミ穴と考えられ、大礫だけが捨てられたものと、陶磁器片や下駄などを生活用品が捨てられたものがある。石組溝は溝の壁面を石で囲った上に平たい石で蓋をしたもので、方向が絵図面にみる屋敷地境のそれと一致するので、排水溝か境界溝と考えられる。ゴミ穴が多く、明らかな柱穴や礎石が見あたらないので、調査区は屋敷の裏庭部分にあたると思われる。

旧校舎の基礎

近世の井戸

古墳時代の大溝

（4）学術調査の成果

A．切山城跡（加越国境城郭群と古道）

（遺跡番号　県：01390　市：112T）

所 在 地：金沢市桐山町地内
　　　　北緯　36°36′02″
　　　　東経 136°44′42″
調査面積：170㎡
種　　別：城館跡
主な時代：安土・桃山
担　　当：向井 主任主事

■ 遺跡の概要

切山城跡の発掘調査は、「加越国境城郭群と古道詳細調査事業」の一環として実施している。

加越国境とは旧加賀国と旧越中国の国境を示し、概ね現在の石川県金沢市・津幡町と富山県小矢部市・南砺市の県境付近を指している。この国境越えには、北陸道の他にも複数の短距離で越中へ到達する脇街道と呼ばれる山越え道が良く利用されており、中世や近世にも使用されていた。現在それらは舗装道路や林道などに姿を変えながらも、多くが当時の道筋を踏襲している。

本能寺の変から2年後の天正12年（1584）、羽柴秀吉と織田信雄・徳川家康連合軍が織田信長亡き後の天下統一をめぐり争った「小牧・長久手の戦い」が勃発するが、それに連動して、秀吉方の前田利家と家康方の佐々成政は、加賀と越中の国境付近に対峙することとなり、加越国境付近の街道沿いには多くの山城が築造された。

天正13年8月の羽柴秀吉による越中出陣により佐々成政は降伏するが、この後に越中の西半分が前田利家の長男利長に与えられたことで、加越国境付近の緊張状態は解消され、城郭群は不要になったと考えられる。

加越国境付近の街道沿いに築かれた多くの山城の中でも、代表的な城跡である推定前田方の切山城と推定佐々方の松根城は、天下の覇権抗争の縮図となった利家と成政の対立を物語るもので、両城と共に城が築造される地理的要因となった小原越の実態を明らかにすることで史跡指定を目指している。そして、その戦乱の歴史舞台を未来に伝えることを目的としている。

切山城跡は金沢市桐山町と宮野町の町境に所在し、加賀と越中の国境近くに立地している。森下川と切山川、清水谷川に挟まれた標高139mの尾根頂部を中心に造成されており、国境付近や南方の森下川への眺望が良好である。城の南側を小原越が通過する。

近世の書上帳や地誌類には、不破彦三（前田家家臣）の城と記載されている。

南北250m、東西200mの規模を持ち、平坦面、切岸、堀切、横堀、竪堀、土塁、櫓台、虎口などから構成される山城跡である。主郭は南北約25m、東西約30mの不整形な平坦面で、城内に小原越を取り込んでいる。越中側に大横堀を設置しており、越中側からの侵攻を強く意識した構造と考えられる。現況遺構は16世紀後半と推定されている。

発掘調査は主郭、曲輪、櫓台、虎口、土塁、堀切、横堀、小原越もしくは横堀で実施している。

遺構は穴跡や焼土跡、溝跡、整地跡、盛土跡などが確認され、遺物は火縄銃の弾丸と考えられる鉛玉や土師器皿、粉引臼、砥石などが出土している。

主郭 (A) では穴と盛土を、主郭南端の推定櫓台箇所 (H) では穴と整地土、土塁盛土を検出し、整地土直上から鉛玉が出土している。

東側虎口 (C) では整地土と土塁盛土、門遺構の可能性がある礎石建物、門に伴う敷石の可能性がある集石遺構を検出し、土器片、金属片が出土している。主郭東側虎口付近の土塁 (J) では、土塁上で柵列もしくは塀の可能性がある穴や互層による土塁の盛土を検出した。主郭の西側虎口 (B) では土塁の盛土を検出した。主郭西側の外枡形虎口 (K) では、穴、溝、整地土を検出し、石臼が出土した。外升形虎口から下に降りる斜面裾部 (L) で溝を検出した。

主郭北側の曲輪 (D) では穴と焼土、盛土（1.5 m以上）を検出し、土器片が出土した。

城の西端を区切る堀切 (E) では地表面から約 70㎝下で幅約 1.7 mの堀底を検出した。

城の東端を区切る横堀 (I) では、作業道脇の壁面を削り、幅約３m、深さ約 1.1 mの堀を検出した。

城の南端に残る小原越もしくは横堀 (M) では、地表面から約 50㎝下で地盤と幅約 40㎝、深さ約30㎝の溝を検出しており、横堀に設けられた防御施設を示す可能性が考えられるが、詳細不明である。

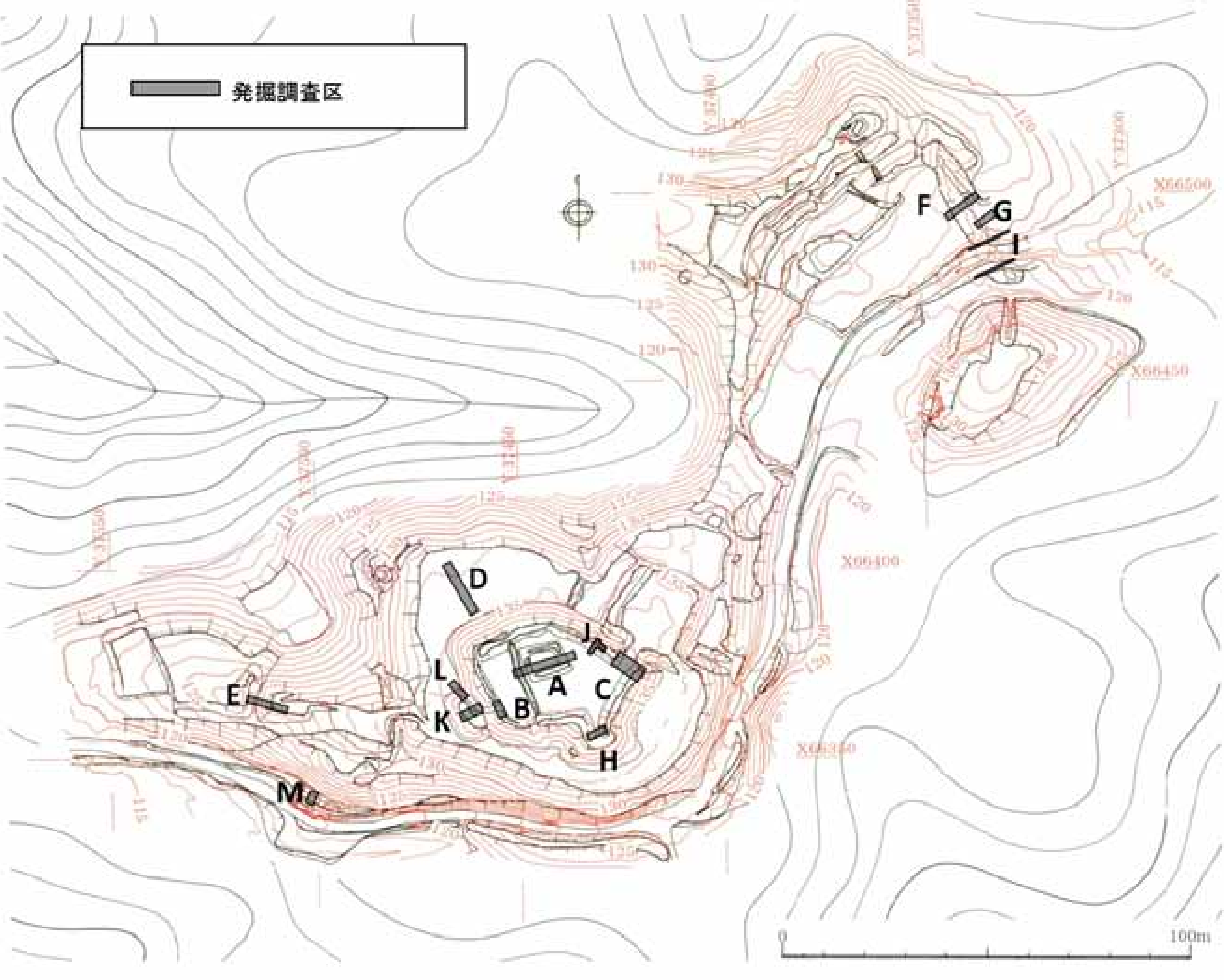
今回の調査で確認した整地土や盛土によって、城郭の築造内容の一端が判明した。また、門の可能性がある礎石建物や土塁上で検出した塀の可能性がある柱穴列によって、具体的な建造物が明らかとなってきた。さらに、鉛玉はその出土状況から城跡が使用されていた時期のものと考えられるので、火縄銃が伝わった 16 世紀後半頃の年代が想定される。このことによって、従来城の形態から年代が想定されていたが、出土遺物からも年代を推定できるようになった。

調査区Ｊ　土塁の断面

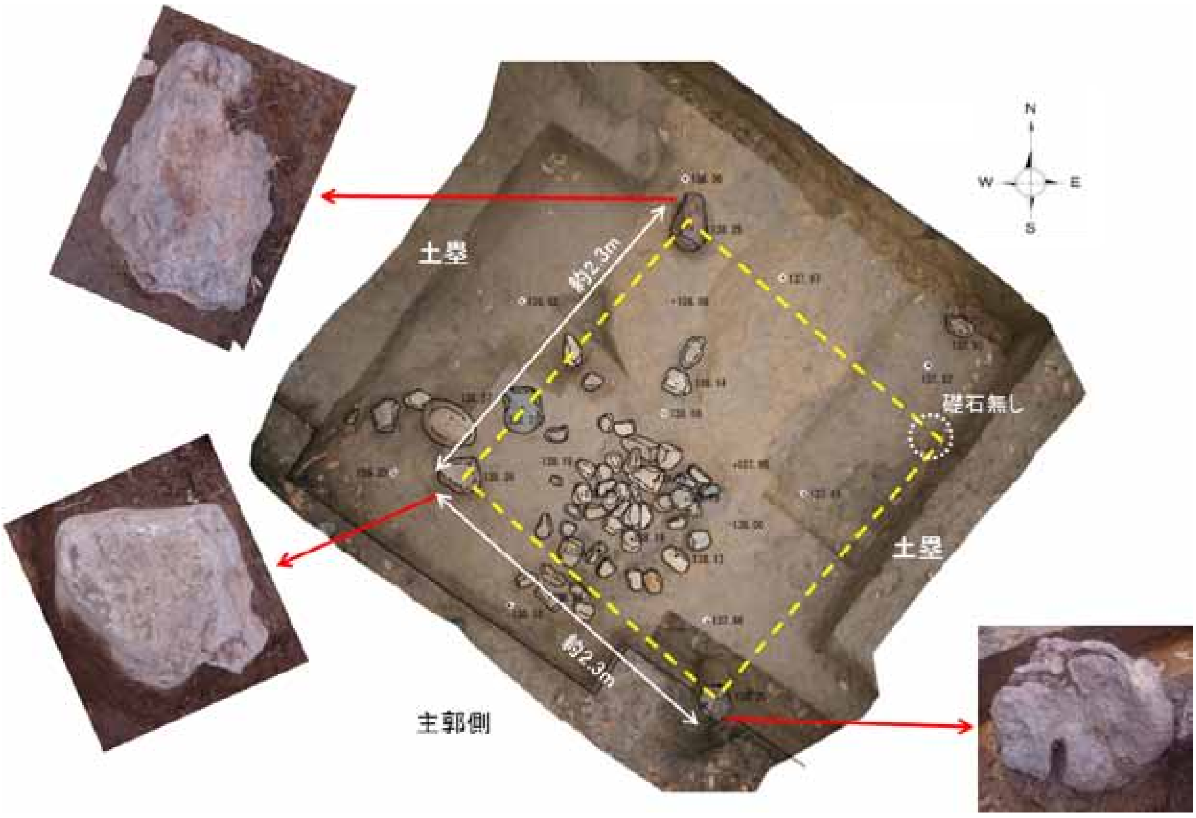
調査区Ｊ　穴列（柵列・塀か）

調査区Ｍ　小原越または横堀の堀底溝

調査区Ｉ　横堀の断面



切山城跡遺構図と発掘調査箇所



調査区Ｃで検出された礎石建物

B．加賀藩主前田家墓所（かがはんしゅまえだけぼしょ）

※史跡整備に伴う発掘調査

所 在 地：金沢市野田町野田山地内
北緯　36゜31′45″
東経 136゜39′57″
調査面積：30㎡
種　　別：大名家墓所
主な時代：江戸
担　　当：谷口 主任主事

■ 史跡の概要

加賀藩主前田家墓所は、江戸時代に加賀・能登・越中三ヵ国を領有した藩主家の墓所である（以下、「墓所」という。）。金沢市の南東部、倉ヶ岳を主峰とする富樫山地の北東端に位置する野田山丘陵の北東斜面中腹に占地し、藩主居城である金沢城からは直線距離にして南に約 3.5㎞に位置する。墓所内には歴代藩主を中心に、藩主正室、生母、子女ら計 84 基の墳墓が造営されている。

藩主墓は土を方形に３段重ねた特徴的な形（方形３段築造）をしており、藩祖前田利家墓で一辺が約 19m、以降の藩主墓で一辺約 16m を測る。江戸時代は仏式葬であったが、藩主家が明治７年に神式葬へと転換したため、現在は墳墓の正面に鳥居が建てられている。

墓所の始まりは利家の実兄利久を天正 15 年 (1587) に葬ったことと伝えられるが、歴代藩主墓所としての嚆矢は慶長 4 年 (1599) に死去した利家の墳墓造営となる。その際、利家は遺言により自らその墳墓の地を野田山に指定した。以降、4 代光高・9 代重靖を除く歴代藩主は方形３段築造という特異な墳墓形式をもってこの地に埋葬され、墓所は近世大名家墓所として発展した。個々の墳墓の大きさ、墓所全体の面積ともに全国でも最大級の規模であり、加賀百万石の大名家墓所として堂々たる威容を誇っている。加えて、現在も祭祀行為が行われ続けている、まさに「生きた墓所」である点にも大きな特徴がある。

前田家墓所は織豊期から現代に至るまでの墓所の変遷をたどることができ、その規模の大きさと独特の墳墓形態も含め、日本を代表する大名家墓所の一つとして極めて高い文化財的価値を有していることから、平成 21 年 2 月 12 日に国の史跡に指定された。指定面積は 86,294.35㎡である。

金沢市では、平成 20 年度の国史跡指定を受け、翌 21 年度に保存管理計画を、同 22 年度に整備基本計画を策定した。これに基づき同 24 年度から史跡の本格整備に着手することとなったため、同 23 年度に史跡整備に先立つ遺構確認のための発掘調査を実施した。

■ 調査の概要

○ 村井千世墓調査区

村井千世は藩祖利家の７女で寛永 18 年 (1641) 没。初め細川忠隆に嫁ぎ、後に村井長次に再嫁した。墳墓は墓所の南西角の緩斜面に位置し、墳丘には２段の段丘が良好に残存する。墳丘周囲には方形の堀が廻って墓域を形成している。墳丘前面に祭壇部を持ち、祭壇部の墳丘側に墓所内現存最大となる越前笏谷石製の石廟を配し、内部に同材の宝篋印塔を安置する。石廟及び宝篋印塔は経年により石材の老朽化が進行し各部材の連結部のずれも認められていたことから早急な保存対策が必要であると判断され、平成 22 年度に解体、同 23 年度から強化剤含浸による保存処理に着手している。今回、

保存処理及び今後の復原整備を視野に入れた、石廟の基礎構造を把握するための発掘調査を行った。

発掘調査は平成 22 年度に解体した石廟の基礎部分を中心に調査区を設定し、人力により表土を除去した後、遺構検出を行った。調査後は遺構養生措置を取ったのち、埋め戻した。

調査の結果、石廟設置箇所の下部から河原石を方形に並べた基礎石列が確認された。これは径 20 ～ 30㎝大の河原石を東西約 3m ×南北約 2.5m の範囲で方形に敷き詰めたもので、石廟の土台石が乗る位置にある。ただし墳丘側にあたる南辺は河原石ではなく切石を置いている。基礎石列の下位には黒色土が、さらにその下位には黄褐色土があり、いずれも墳丘を形成する際の盛土である。すなわち、緩斜面上に黄褐色土を盛土して平坦面を造成し、その上に黒色土を盛り上げて祭壇部を造成し、さらにその上に基礎石列を敷いて石廟を設置している。これにより、墓所内で初めて石廟の基礎構造が考古学的に明らかになったことになる。

なお、基礎石列の内部には石廟の内部に充填されていた土壇が残存していたため、断ち割って土層観察を行った。黄褐色土と黒色土の互層によって形成されていることが確認されたが、叩き締めたような痕跡は確認されなかった。

○ 西階段調査区

墓所の西側に位置する全長約 180m の階段（以下、「西階段」という。）を整備するにあたり、遺構の有無を確認するため、２箇所の調査区を設定し発掘調査を行った。西階段は前田家墓所の本来の入口である墓所正面入口から始まり、南南東へ登上し途中西側に湾曲しつつ利家墓・松墓へ至っており、藩政期においては墓参の藩主も登った参詣道である。

発掘調査は西階段の頂点から水平距離で約 30m 北に位置する調査区①、同じく約 20m 北に位置する調査区②、の２地点で実施し、人力により表土を除去した後に遺構検出を行った。調査後は遺構養生措置を取ったのち、埋め戻した。

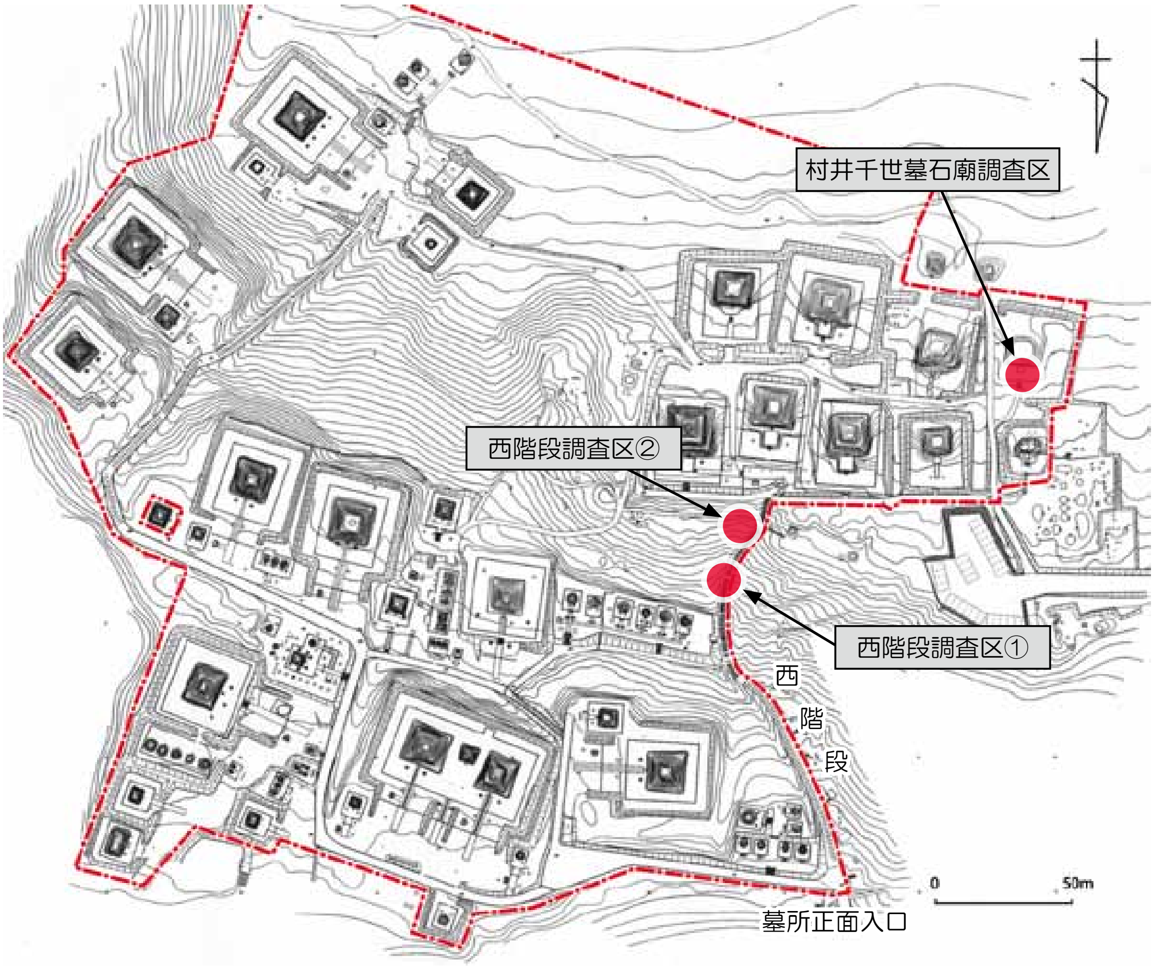
・調査区①

過去の階段の遺構確認を目的として、現状の階段を挟み込む形で調査区を設定した。調査の結果、調査区の両端で溝状の落ち込みを確認した。特に西端では２条の溝状遺構を確認しており、少なくとも２時期の階段幅が存在していたことが確認された。すなわち、幅約 3m の古段階の階段と、拡張され幅約 4m となった新段階の階段である。さらに現在の階段は調査で判明した新段階の階段の上に造成されたものとなる。残念ながら遺物の出土を見なかったため、古・新段階の具体的な時期は判断できない。また、両端の溝状遺構の間は盛土によって階段が造成されていることも確認された。

・調査区②

本調査区の東に隣接して過去の階段の痕跡と思われる地形が残存しており、遺構確認の目的で調査区を設定した。調査の結果、調査区の中央部で旧階段の遺構となる盛土を確認した。盛土上には４段からなる段差が確認され、これが階段の痕跡であると思われるが、現在の西階段に見られるような踏石等の痕跡は確認されなかった。また、盛土の両側は溝状に落ち込んでおり、排水を目的として側溝状に掘り下げたものと思われる。これらの調査成果により、当該地における現状の西階段は近年の造成工事で直線的に付け替えられたものであり、旧来の階段は現在よりも東側を地形に沿って設置されていたことが判明した。

今回の発掘調査の成果は平成 24 年度に実施する西階段整備及び平成 25 年度以降に実施する千世墓石廟の復元整備時にその成果を反映させる。また、墓所の史跡整備は平成 31 年度までを予定しており、必要に応じて各所において発掘調査を実施し、調査成果を整備内容に反映させていきたい。



村井千世墓石廟（解体前）

石廟解体後状況

基礎石列検出状況

調査風景

西階段調査区①　調査前状況

西階段調査区①　完掘状況

西階段調査区①　東端遺構検出状況

西階段調査区①　西端遺構検出状況

西階段調査区②　調査前状況

西階段調査区②　完掘状況

西階段調査区②　階段跡検出状況

西階段調査区②　調査風景

２．埋蔵文化財分布調査事業

（１）平成 23 年度埋蔵文化財分布調査事業の概要

金沢市では公共事業に関する土木工事や建設工事及び民間の開発行為や農地転用の際に、事前に遺跡地図に基づく図面調査、実際の開発予定地における現地踏査、試掘確認調査等を実施し、埋蔵文化財の有無を確認している。

今年度は市施工の公共事業 7 件、民間の開発行為・農地転用 107 件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、慎重工事及び工事立会での対応となったものは別表のとおりであった。

■ 公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場　所	事　業　名	担 当 課	回答日	面　積	調査方法	有無	対　応
1	八日市二丁目地内	新幹線関係道路建設事業	道路建設課	4 月 7 日	150 ㎡	試掘	無	支障なし (八日市 C 遺跡)
2	本多町三丁目地内	本多歴史の森周辺整備工事	道路建設課	4 月 21 日	180 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
3	本多町三丁目地内	本多歴史の森周辺整備工事	道路建設課	6 月 30 日	210 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
4	小立野四丁目 7 番 7 外	小立野小学校改築工事	教育総務課	9 月 20 日	1,600 ㎡	試掘	無	支障なし (高尾城跡)
5	大友町地内	金沢市副都心北部大友土地区画整理事業	市街地再生課	10 月 27 日	2,600 ㎡	試掘	**有**	**H23 発掘調査 (大友 G 遺跡)**
6	直江町地内	金沢市副都心北部直江土地区画整理事業	市街地再生課	10 月 27 日	650 ㎡	試掘	無	支障なし
7	直江町地内	金沢市副都心北部直江土地区画整理事業	市街地再生課	11 月 1 日	400 ㎡	試掘	無	支障なし

■ 民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場　所	行 為 の 内 容	申請日	回答日	面　積	調査方法	結果	対　応
1	観音堂町チ 8 番 3	宅地造成	4 月 1 日	4 月 7 日	178.20 ㎡	試掘	無	支障なし (観音堂遺跡)
2	藤江南一丁目 15 番	建物建設	4 月 17 日	4 月 27 日	2,278.00 ㎡	試掘	**有**	**協議要 (藤江 A 遺跡)**
3	南町 128 番	駐輪場建設	4 月 15 日	4 月 21 日	84.79 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
4	有松二丁目 737 番	店舗建設	4 月 20 日	4 月 22 日	201.00 ㎡	試掘	無	支障なし (有松 D 遺跡)
5	有松四丁目 41 番	店舗建設	4 月 20 日	4 月 22 日	247.08 ㎡	試掘	無	支障なし (有松 D 遺跡)
6	法島町 389 番	住宅建設	4 月 25 日	5 月 10 日	207.84 ㎡	試掘	無	支障なし (法島遺跡)
7	安江町 173 番 2 外 2 筆	駐車場建設	5 月 6 日	5 月 17 日	414.53 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
8	米泉七丁目 60 番 1 外 2 筆	宅地造成	2 月 28 日	5 月 17 日	3,425.32 ㎡	試掘	無	支障なし
9	田中町と 28 番 4	住宅建設	5 月 9 日	5 月 17 日	309.96 ㎡	試掘	無	支障なし (田中 B 遺跡)
10	小将町 218 番	住宅建設	5 月 17 日	5 月 23 日	244.68 ㎡	試掘	**有**	**立会調査 (金沢城下町遺跡)**
11	三馬二丁目 76 番 外 2 筆	宅地造成	5 月 12 日	5 月 27 日	723.00 ㎡	試掘	無	支障なし
12	三馬二丁目 79 番外 4 筆	宅地造成	5 月 12 日	5 月 27 日	1,201.00 ㎡	試掘	無	支障なし
13	みどり一丁目 60 番1	住宅建設	5 月 24 日	5 月 27 日	149.91 ㎡	試掘	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)

ID	場　所	行為の内容	申請日	回答日	面　積	調査方法	結果	対　応
14	木曳野土地区画整理事業 施行地区内 25 街区 20 番 1	住宅建設	6 月 1 日	6 月 7 日	177.00 ㎡	試掘	無	支障なし (寺中 B 遺跡)
15	松村六丁目 127 番	住宅建設	5 月 30 日	6 月 8 日	185.92 ㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)
16	高尾町ル 14 番	駐車場建設	6 月 3 日	6 月 8 日	300.00 ㎡	試掘	無	支障なし (高尾遺跡)
17	玉鉾三丁目 44 番 2	住宅建設	6 月 1 日	6 月 8 日	181.53 ㎡	試掘	無	支障なし (玉鉾 B 遺跡)
18	彦三町一丁目 212 番 1	住宅建設	6 月 7 日	6 月 10 日	262.19 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
19	南新保町 73 番 1	土地売買	6 月 1 日	6 月 10 日	1,082.00 ㎡	試掘	無	支障なし
20	彦三町二丁目 203 番 5	住宅建設	6 月 3 日	6 月 15 日	152.69 ㎡	試掘	**有**	**立会調査 (金沢城下町遺跡)**
21	馬替一丁目 8 番 2	住宅建設	5 月 30 日	6 月 17 日	117.93 ㎡	試掘	無	支障なし (扇台遺跡)
22	南塚町 233 番	保育所建設	6 月 13 日	6 月 17 日	1,821.25 ㎡	試掘	無	支障なし (南塚遺跡)
23	森戸二丁目 15 番 3	店舗建設	6 月 16 日	6 月 22 日	896.52 ㎡	試掘	無	支障なし (森戸バイパス遺跡)
24	田上本町土地区画整理事業 施行地区内 92 街区1番 外 18 筆	駐車場建設	6 月 23 日	6 月 30 日	1,889.00 ㎡	試掘	無	支障なし
25	米泉二丁目 40 番 1	駐車場建設	6 月 13 日	6 月 30 日	146.00 ㎡	試掘	無	支障なし (米泉遺跡)
26	瓢箪町 59 番 外 1 筆	住宅建設	6 月 24 日	6 月 30 日	131.23 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
27	古府一丁目 113 番 外 2 筆	住宅建設	6 月 29 日	7 月 8 日	2,271.20 ㎡	試掘	無	支障なし (古府クルビ遺跡)
28	泉野町五丁目 131 番 1 外 3 筆	土地売買	6 月 29 日	7 月 8 日	868.77 ㎡	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
29	増泉四丁目 2 番 外	店舗建設	6 月 24 日	7 月 12 日	11,228.54 ㎡	試掘	無	支障なし
30	四十万三丁目 1 番 1	土地売買	6 月 28 日	7 月 8 日	271.00 ㎡	試掘	無	支障なし (四十万 B 遺跡)
31	松村三丁目 270 番	住宅建設	7 月 1 日	7 月 8 日	223.00 ㎡	試掘	無	支障なし (松村高見遺跡)
32	兼六町 69 番 外 2 筆	土地売買	7 月 6 日	7 月 8 日	820.14 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
33	金石東一丁目 143 番 1	住宅建設	7 月 15 日	7 月 20 日	698.00 ㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
34	藤江南一丁目 87 番	住宅建設	7 月 11 日	7 月 20 日	67.27 ㎡	試掘	無	支障なし (藤江 A 遺跡)
35	大手町 366 番 1	住宅建設	7 月 19 日	7 月 25 日	133.19 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
36	松村七丁目 53 番 5	住宅建設	7 月 27 日	7 月 29 日	181.94 ㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)
37	三小牛町、別所町、平栗町地内	産廃処分場建設	7 月 12 日	7 月 29 日	172,706.00 ㎡	踏査	無	支障なし
38	有松二丁目 716 番 外 1 筆	駐車場建設	7 月 21 日	7 月 29 日	666.00 ㎡	試掘	無	支障なし (有松 D 遺跡)
39	袋板屋町地内	福祉施設建設	7 月 21 日	8 月 5 日	40,000.00 ㎡	試掘	無	支障なし (寺屋敷跡)
40	尾山町 9 番 13	事務所建設	4 月 14 日	8 月 10 日	3,059.00 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
41	彦三町一丁目 710 番	住宅建設	8 月 5 日	8 月 11 日	81.15 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
42	畝田西三丁目 501 番 外 2 筆	店舗建設	7 月 27 日	8 月 16 日	500.00 ㎡	試掘	無	支障なし (畝田遺跡)
43	藤江南一丁目 40 番	店舗建設	8 月 1 日	8 月 25 日	938.12 ㎡	試掘	無	支障なし (藤江 B 遺跡)
44	高尾台一丁目 184 番 1 外 1 筆	住宅建設	8 月 17 日	8 月 25 日	342.00 ㎡	試掘	無	支障なし (高尾天神堂遺跡)
45	金石東一丁目 99 番	住宅建設	8 月 19 日	8 月 29 日	90.73 ㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)

ID	場　所	行為の内容	申請日	回答日	面　積	調査方法	結果	対　応
46	額新町二丁目 156 番	住宅建設	8 月 18 日	8 月 29 日	217.62 ㎡	試掘	無	支障なし (大額ジョウデン遺跡)
47	長坂二丁目 1306 番	宅地造成	8 月 17 日	9 月 1 日	429.00 ㎡	試掘	無	支障なし (長坂 A 遺跡)
48	尾張町一丁目 6 番 2	住宅建設	7 月 28 日	9 月 1 日	66.40 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
49	専光寺町カ 41 番 外 8 筆	住宅建設	8 月 29 日	9 月 9 日	2,276.16 ㎡	試掘	無	支障なし
50	元菊町 227 番 3 外 1 筆	事務所建設	8 月 30 日	9 月 9 日	3,067.16 ㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
51	彦三町二丁目 203 番 2	住宅建設	9 月 5 日	9 月 9 日	184.14 ㎡	試掘	有	**立会調査** **(金沢城下町遺跡)**
52	松村七丁目 33 番 1	住宅建設	8 月 12 日	9 月 15 日	542.00 ㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)
53	橋場町 43 番	住宅建設	5 月 30 日	9 月 22 日	101.81 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
54	横枕町 1 番 2 外 1 筆	住宅建設	9 月 12 日	10 月 5 日	181.66 ㎡	試掘	無	支障なし (法光寺遺跡)
55	武蔵町 547 番 1	住宅建設	9 月 16 日	10 月 5 日	80.84 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
56	本町二丁目 671 番	住宅建設	9 月 30 日	10 月 5 日	1,085.00 ㎡	試掘	無	支障なし
57	八日市出町 953 番 外 1 筆	住宅建設	9 月 14 日	10 月 5 日	236.28 ㎡	試掘	無	支障なし (八日市ヤスマル遺跡)
58	西念三丁目 2104 番 1	住宅建設	9 月 30 日	10 月 11 日	106.94 ㎡	試掘	無	支障なし (西念東遺跡)
59	間明町一丁目 122 番 外 2 筆	住宅建設	10 月 5 日	10 月 21 日	1,369.54 ㎡	試掘	無	支障なし
60	南森本町ニ 29 番 1 外 1 筆	駐車場建設	10 月 6 日	10 月 24 日	1,590.00 ㎡	試掘	無	支障なし
61	専光寺町ヲ 20 番 1 外 4 筆	住宅建設	9 月 28 日	10 月 24 日	1,294.19 ㎡	試掘	無	支障なし
62	釣部町オ 5 番 1 外	岩石採取	3 月 25 日	11 月 10 日	73,208.00 ㎡	試掘	無	支障なし
63	広岡三丁目 308 番	店舗建設	10 月 12 日	10 月 31 日	999.16 ㎡	試掘	無	支障なし (北安江遺跡)
64	駅西本町六丁目 1515 番 外 1 筆	病院建設	10 月 21 日	11 月 2 日	967.00 ㎡	試掘	無	支障なし (藤江 B 遺跡)
65	黒田一丁目 5 番 2	住宅建設	10 月 31 日	11 月 7 日	235.00 ㎡	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
66	長坂二丁目 248 番 1 外 1 筆	住宅建設	11 月 1 日	11 月 7 日	125.73 ㎡	試掘	無	支障なし (長坂 A 遺跡)
67	戸板第二土地区画整理事業 施行地区内 43 街区 7 番 外 5 筆	宅地分譲	10 月 28 日	11 月 10 日	1,435.00 ㎡	試掘	無	支障なし (薬師堂遺跡)
68	尾張町二丁目 132 番 外 2 筆	店舗建設	10 月 31 日	11 月 10 日	212.06 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
69	福増町北 859 番 3	住宅建設	10 月 31 日	11 月 10 日	165.29 ㎡	試掘	無	支障なし (安原工業団地遺跡)
70	田上本町ヘ 184 番 外	産廃処分場建設	10 月 27 日	12 月 1 日	4,540.00 ㎡	試掘	無	支障なし (舘山遺跡)
71	笠舞一丁目 331 番	住宅建設	10 月 21 日	12 月 1 日	146.01 ㎡	試掘	無	支障なし (笠舞 A 遺跡)
72	二ツ屋町 1 番 11	倉庫建設	11 月 18 日	12 月 1 日	4,806.28 ㎡	試掘	無	支障なし
73	松村七丁目 53 番 15	住宅建設	11 月 24 日	12 月 1 日	148.77 ㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)
74	大野町四丁目ヲ 21 番 1 外 4 筆	宅地分譲	11 月 8 日	12 月 7 日	1,750.25 ㎡	試掘	無	支障なし
75	南新保町ヘ 34 番 外 1 筆	児童福祉施設建設	11 月 30 日	12 月 13 日	1,847.00 ㎡	試掘	無	支障なし (南新保 D 遺跡)
76	高岡町 141 番 外 1 筆	住宅建設	10 月 14 日	12 月 13 日	102.21 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
77	八日市三丁目 455 番 外 1 筆	住宅建設	12 月 12 日	12 月 13 日	460.00 ㎡	試掘	無	支障なし (八日市 B 遺跡)

ID	場　所	行為の内容	申請日	回答日	面　積	調査方法	結果	対　応
78	黒田二丁目 217 番 5	住宅建設	12 月 12 日	12 月 19 日	114.54 ㎡	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
79	不動寺町ロ 25 番 1 外	宅地造成	12 月 12 日	12 月 19 日	1,156.98 ㎡	試掘	無	支障なし
80	四十万町北カ 121 番	電話基地局建設	11 月 22 日	12 月 27 日	12.00 ㎡	試掘	無	支障なし (四十万 B 遺跡)
81	横山町 687 番	住宅建設	12 月 21 日	1 月 19 日	270.00 ㎡	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
82	福増町南 302 番 1	住宅建設	12 月 26 日	1 月 19 日	222.12 ㎡	試掘	無	支障なし (福増遺跡)
83	田上本町土地区画整理事業 施行地区内 84 街区 7 番 外 3 筆	共同住宅建設	1 月 12 日	1 月 24 日	625.00 ㎡	試掘	無	支障なし (田上本町遺跡)
84	藤江北三丁目 14 番	宅地造成	1 月 16 日	1 月 24 日	673.00 ㎡	試掘	無	支障なし (藤江 C 遺跡)
85	泉野町一丁目 393 番 5	宅地造成	1 月 10 日	1 月 26 日	1,176.41 ㎡	試掘	無	支障なし
86	北安江二丁目 15 番	店舗建設	12 月 20 日	1 月 26 日	1,072.07 ㎡	試掘	無	支障なし
87	寺中町ホ 49 番 外 2 筆	宅地造成	1 月 23 日	2 月 2 日	1,957.00 ㎡	試掘	無	支障なし
88	若松町セ 104 番 1 外	社会福祉施設建設	12 月 26 日	2 月 13 日	26,564.00 ㎡	試掘	無	支障なし
89	近岡町 345 番 1	診療所建設	1 月 11 日	2 月 13 日	1,553.00 ㎡	試掘	無	支障なし
90	増泉五丁目 87 番 1	住宅建設	1 月 30 日	2 月 13 日	161.96 ㎡	試掘	無	支障なし (増泉穴田遺跡)
91	玉鉾一丁目 172 番	店舗建設	2 月 9 日	2 月 17 日	184.50 ㎡	試掘	無	支障なし (玉鉾 B 遺跡)
92	駅西本町一丁目 1414 番 外 1 筆	駐車場建設	2 月 8 日	2 月 17 日	1,280.43 ㎡	試掘	無	支障なし
93	寺地二丁目 43 番	住宅建設	2 月 6 日	2 月 17 日	258.69 ㎡	試掘	無	支障なし (有松 C 遺跡)
94	窪四丁目 501 番	住宅建設	2 月 15 日	2 月 24 日	268.00 ㎡	試掘	無	支障なし (窪遺跡)
95	窪四丁目 494 番	住宅建設	2 月 15 日	2 月 24 日	446.00 ㎡	試掘	無	支障なし (窪遺跡)
96	高尾町ル 15 番	住宅建設	2 月 14 日	2 月 24 日	241.08 ㎡	試掘	無	支障なし (高尾遺跡)
97	松寺町子 38 番 外 2 筆	医療施設建設	1 月 10 日	2 月 24 日	2,838.00 ㎡	試掘	無	支障なし
98	尾張町二丁目 407 番 2 外	住宅建設	1 月 10 日	2 月 24 日	179.31 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
99	高尾台一丁目 234 番 1	住宅建設	2 月 22 日	2 月 24 日	149.79 ㎡	試掘	無	支障なし (高尾天神堂遺跡)
100	高岡町 12 番 2 外 1 筆	住宅建設	2 月 29 日	3 月 13 日	528.02 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
101	武蔵町 497 番 外 1 筆	事務所建設	2 月 22 日	3 月 13 日	408.57 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
102	馬替二丁目 8 番 1 外 1 筆	介護施設建設	2 月 27 日	3 月 13 日	1,386.00 ㎡	試掘	無	支障なし
103	泉本町三丁目 102 番	店舗建設	3 月 2 日	3 月 13 日	3,538.30 ㎡	試掘	無	支障なし
104	南町 208 番 外	店舗建設	2 月 29 日	3 月 13 日	1,182.18 ㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
105	八日市四丁目 326 番 外 4 筆	店舗建設	3 月 6 日	3 月 28 日	1,321,10 ㎡	試掘	無	支障なし
106	円光寺本町 138 番 外 1 筆	宅地分譲	3 月 2 日	3 月 28 日	1,364.00 ㎡	試掘	無	支障なし
107	伏見台三丁目 178 番	住宅建設	3 月 16 日	3 月 30 日	307.00 ㎡	試掘	無	支障なし (円光寺向田遺跡)

■（別表）土木工事のための発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場　所	行為の内容	届出日	取扱 通知日	面　積	遺跡名	対　応
1	93 条（届）	木曳野土地区画整理事業 施行地区内 25 街区 17 番	個人住宅建設	5 月 12 日	5 月 13 日	206.00 ㎡	寺中 B 遺跡	工事立会
2	93 条（届）	駅西本町 5 丁目 1101 番 外 9 筆	倉庫建設	4 月 22 日		7,269.54 ㎡	二口六町 A 遺跡	発掘調査
3	93 条（届）	花園八幡町ロ 20 番 18	個人住宅建設	6 月 10 日	6 月 13 日	150.00 ㎡	花園八幡遺跡	工事立会
4	93 条（届）	木曳野土地区画整理事業 施行地区内 29 街区 7 番	個人住宅建設	6 月 13 日	6 月 14 日	199.00 ㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
5	93 条（届）	彦三町二丁目 203 番 5	個人住宅建設	6 月 20 日	6 月 21 日	152.69 ㎡	金沢城下町遺跡	工事立会
6	94 条（通知）	広坂二丁目 65 番 2	雨水浸透施設 整備工事	7 月 1 日	7 月 22 日	71.00 ㎡	金沢城下町遺跡	工事立会
7	93 条（届）	赤土町ニ 4 番 11	店舗増築	7 月 1 日	7 月 4 日	37.69 ㎡	赤土遺跡	工事立会
8	93 条（届）	田上第五土地区画整理事業 施行地区内 11 街区 9 番	個人住宅建設	7 月 28 日	7 月 29 日	257.00 ㎡	田上北遺跡	工事立会
9	93 条（届）	北町乙 36 番 1	個人住宅建設	9 月 1 日	9 月 2 日	110.15 ㎡	北町遺跡	工事立会
10	93 条（届）	北町乙 36 番	個人住宅建設	9 月 5 日	9 月 6 日	135.00 ㎡	北町遺跡	工事立会
11	93 条（届）	彦三町二丁目 203 番 2	個人住宅建設	9 月 26 日	10 月 3 日	184.14 ㎡	金沢城下町遺跡	工事立会
12	93 条（届）	北町乙 36 番 3	個人住宅建設	9 月 26 日	10 月 3 日	122.88 ㎡	北町遺跡	工事立会
13	93 条（届）	木曳野土地区画整理事業 施行地区内 29 街区 1 番	個人住宅建設	11 月 9 日	11 月 10 日	186.00 ㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
14	93 条（届）	大桑一丁目 120 番	個人住宅建設	11 月 24 日	11 月 25 日	172.85 ㎡	大桑 B 遺跡	慎重工事
15	93 条（届）	千木町カ 7 番 2	個人住宅建設	11 月 18 日	11 月 22 日	162.41 ㎡	千木遺跡	工事立会
16	93 条（届）	中屋南 49 番 外 1 筆	個人住宅建設	12 月 22 日	1 月 6 日	183.80 ㎡	中屋東遺跡	工事立会
17	93 条（届）	大桑一丁目 194 番	個人住宅建設	12 月 13 日	12 月 14 日	171.57 ㎡	大桑 B 遺跡	慎重工事
18	93 条（届）	大桑二丁目 213 番	個人住宅建設	12 月 26 日	1 月 6 日	162.00 ㎡	大桑アナグチ遺跡	慎重工事
19	93 条（届）	北町乙 47 番 4	個人住宅建設	12 月 22 日	1 月 6 日	165.17 ㎡	北町遺跡	工事立会
20	93 条（届）	田上第五土地区画整理事業 施行地区内 1 街区 20 番	個人住宅建設	1 月 20 日	2 月 7 日	210.46 ㎡	若松遺跡	慎重工事
21	93 条（届）	戸板第二土地区画整理事業 施行地区内 63 街区1番	個人住宅建設	1 月 20 日	1 月 25 日	161.00 ㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
22	93 条（届）	北町乙 36 番 5	個人住宅建設	2 月 17 日	2 月 20 日	140.51 ㎡	北町遺跡	工事立会
23	93 条（届）	戸板第二土地区画整理事業 施行地区内 61 街区 5 番 1 外 1 筆	共同住宅建設	11 月 25 日	11 月 25 日	164.85 ㎡	出雲じいさまだ遺跡	工事立会

3．教育・普及・啓発活動事業

（1）歴史ふれあい講座

当センターでは平成 12 年度より職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について児童に直接講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。近年、小学校では総合学習の時間を利用し、体験活動を通して郷土の歴史を学ぶ機会が増加しているが、そういった教育の場で当センターがこれまで培ってきた市内における発掘調査の成果を利用した「古代体験」の場を積極的に提供することで、郷土の歴史への愛着と埋蔵文化財への理解を深めてもらうことがこの事業の目的である。

≪過去５年間の事業実績≫

実施年度	学校数	講座数	児童数
平成 19 年度	28	58	1,941
平成 20 年度	28	62	2,063
平成 21 年度	20	46	1,520
平成 22 年度	27	57	1,947
平成 23 年度	**32**	**71**	**2,341**

「歴史ふれあい講座」は基本的に小学校 6 年生を対象とし、年度当初の 4 ～ 5 月を開催時期として設定している。これは、この時期が歴史学習の導入時期に当たり、実際に市内各所から出土した土器や石器の実物に触れることで、歴史を肌で感じることができ、これから始まる歴史学習に興味を持つ機会を創出できるとの考えからである。また、昨年度からは、事前に担当職員が学校を訪問し、授業の進捗状況、先生方からの要望を調査することで、各小学校の授業の進捗に沿った講座内容にするべく努めている。事業初年度こそ参加校は 8 校であったが、近年では市内小学校数の過半数に当たる 40 校以上の申し込みが寄せられている。しかしながら、各小学校からの開催希望日が重複し、申し込みを断念するケースがあり、全ての申し込みに応えられていないのが現状である。

講座内では貫頭衣の試着、石を使ってのくるみ割り、縄文～古墳時代の遺物見学、最後に火起こしまたは勾玉作りの体験がある。さらに現在の生活と文化財との接点を意識してもらえるよう、各小学校の校区内に所在する文化財や埋蔵文化財包蔵地を記した「文化財マップ」を配布し、校区内の遺跡から発掘された出土品を展示している。この内容で、1 講座 100 分を所要する。

平成 22 年度からは金沢文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私協働で事業を行っている。今年度は 4 月 11 日の額小学校から始まり、5 月 31 日の森本小学校に終わる 32 校で開催した。うち 20 校が火起こしを、10 校が勾玉作りを、2 校は勾玉作りも火起こしも行わない短時間のコースを行った。参加児童数は 2,341 名で過去最高を記録し、平成 12 年度からの累計は 18,723 人となった。今後とも、講座内容の積極的な見直し、改善を行い、より多くの児童に歴史に興味を持つ機会が創出できればと考えている。

火起こし体験

勾玉つくり体験

（2）金沢こども歴史探検隊

当センターでは平成 15 年度より、将来を担う子どもたちを対象にさらなる歴史体感の場として、市内の史跡･建造物など、実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢こども歴史探検隊」を実施している。これは、ふるさとの歴史をより理解し、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護ってゆく「金沢型の文化財保存活動」を実現する環境の形成を図ることが目的である。

今回は、発掘調査の進む出雲じいさまだ遺跡を会場として、遺跡の体験発掘を行った。まず担当職員が発掘調査の意義と文化財の保護について簡単に説明し、会場となる出雲じいさまだ遺跡について現地でわかりやすく説明を行った。その後､担当職員が発掘調査の方法や手順について実演しながら、本来の調査と同じように遺構検出→掘削→土器あげまでの一連の作業を子供たちと行った。土器が発見されるたびに会場からは歓声があがっていた。体験終了後にはおさらいとしてクイズを出題し、答え合わせをして終了した。参加した子供たちは普段体験できない発掘調査という作業をとおして、ふるさとの歴史により一層の親しみをもってくれたようである。

第 10 回　「集え !! 未来の考古学者たち !!」

開催日：平成 23 年 7 月 30 日（土）

内　容：出雲じいさまだ遺跡の発掘体験

参加者：小学生および保護者 30 名

≪過去 5 回の事業実績≫

実施年度	回数	タイトル
平成 18 年度	6	「めざせ堅田城主 !!」
平成 19 年度	7	「めざせ金沢城博士 !!」
平成 20 年度	8	「めざせ金沢城博士 !!」Vol.2
平成 21 年度	9	「加賀藩主前田家墓所探検」
平成 23 年度	**10**	**「集え !! 未来の考古学者たち !!」**

遺跡についての説明

発掘体験（遺構検出）

発掘体験（掘削）

おさらいクイズ

（3）市民ふるさと歴史研究会

当センターでは、一般市民を対象に埋蔵文化財に対する理解と愛護精神の醸成を目的として、発掘調査や学術詳細調査の成果を解説する講座「市民ふるさと歴史研究会」を平成 16 年度より開催している。

今回の内容は、金沢市が平成 20 年度から 4 ヶ年にわたって詳細調査を行ってきた「加賀八家墓所」について、その成果を広く一般に公開することを目的として開催した。外部講師による文献史学の立場からの概要講演ののち、実際の調査に携わった担当者から測量調査の成果及び発掘調査の成果を報告した。

参加者に事前予約をお願いしたところ早速定員以上の申込みがあり、あわせて当日実施したアンケートの結果では、会場が手狭であるという意見が多く聞かれ、市民が近世加賀藩の歴史に高い関心を持っていることがうかがえた。

第 12 回 「加賀八家墓所からみる近世の社会」

会　場：石川県立美術館　広坂別館　ホール

開催日：平成 24 年 3 月 25 日（日）

内　容：講　演 「加賀八家と野田山墓所」　宇佐美孝氏 (玉川図書館近世史料館専門員)

報　告 「加賀八家墓所詳細調査の成果」　谷口主査 （金沢市文化財保護課)

庄田主任 （金沢市埋蔵文化財センター）

参加者：123 人

≪過去 5 年間の事業実績≫

実施年度	回数	タイトル	対象となった遺跡・史跡等
平成 19 年度	8	金沢の城下町遺跡は語る	加賀藩主前田家墓所 金沢城惣構跡　広坂一丁目遺跡
平成 20 年度	9	水辺に暮らす縄文人	中屋サワ遺跡
平成 21 年度	10	加賀八家本多家の歴史と 上屋敷周辺の発掘報告	本多氏屋敷跡
平成 22 年度	11	玉つくりから見る金沢の古墳時代	出雲じいさまだ遺跡　ほか
平成 23 年度	**12**	**加賀八家墓所からみる近世の社会**	**加賀八家墓所**

講演：宇佐美 孝 氏

会場の様子

（4）史跡活用事業

一般市民に郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深めてもらうことを目的に各種イベントを開催、これらを通じて文化財愛護の精神を培う機会の創出を目的としている。対象は小学生から中学生およびその保護者を主とし、親子がふれあう機会を提供する場にもなっている。各イベントの実施概要は以下の通りである。

なお、開催にあたっては石川県史跡整備市町協議会から助成金をうけている。

【史跡フェスタみわ】

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園を会場に、奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。

実 施 日：平成23年7月23日（土）
主な内容：古代衣裳試着体験　古代食試食体験　火起こし体験　火打ち石体験　勾玉作り　土器作り　まゆ糸取り体験　紙芝居　土器・パネル展示等
参 加 者：約120名
委 託 先：金沢市三和公民館振興協力会

火起こし体験

【チカモリ学習会】

チカモリ縄文まつりの一環として、地域の方々にチカモリ遺跡および縄文時代の生活について理解を深めてもらうため、下記のとおり学習会を開催した。

実 施 日：平成23年7月23日（土）
主な内容：縄文時代のこと、チカモリ遺跡のこと
講　　師：布尾　和史　氏
（石川県埋蔵文化財センター）
参 加 者：約40名

勾玉作り

【チカモリ縄文まつり】

国指定史跡チカモリ遺跡の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実 施 日：平成23年8月7日（日）
主な内容：火起こし体験　勾玉作り　土器作り　縄文食試食体験　クルミ割り体験　貫頭衣試着体験　ハンターゲーム等
参 加 者：約300名
委 託 先：金沢市西南部公民館振興協力会

土器作り

（5）現地説明会

発掘調査の成果を市民に還元する方法の一つとして、発掘調査現地説明会がある。実際に発掘調査を行っている現場を直に見学する現地説明会は、埋蔵文化財を身近に感じることのできる最良の方法の一つである。

今年度は、出雲じいさまだ遺跡、大友遺跡群、近岡遺跡群、切山城跡の4カ所において現地説明会を開催した。開催概要は下表のとおりである。うち大友遺跡群・近岡遺跡群・切山城跡については、金沢市が市民に文化財に気軽に触れる機会を提供することを目的として平成19年度から開催している「金沢市歴史遺産探訪月間」の一環として実施したものである。昨年度から発掘調査を行っている遺跡もあることから、今年度の成果だけでなく過去の成果や出土遺物にもふれる機会を提供できた。

各遺跡の概要については、本書1の（3）および（4）を参照してほしい。

≪現地説明会一覧≫

<table>
<tr><th>遺跡名</th><th>場　所</th><th>開催日</th><th>対象</th><th>参加者数</th></tr>
<tr><td>出雲じいさまだ遺跡</td><td>金沢市出雲町・桜田町地内</td><td>平成23年9月4日</td><td>一般市民</td><td>約50名</td></tr>
<tr><td>大友遺跡群</td><td>金沢市大友町地内</td><td rowspan="2">平成23年10月15日</td><td rowspan="2">一般市民</td><td rowspan="2">約70名</td></tr>
<tr><td>近岡遺跡群</td><td>金沢市近岡町地内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">切山城跡</td><td rowspan="2">金沢市桐山町・宮野町地内</td><td>平成23年11月19日</td><td>一般市民</td><td>約20名</td></tr>
<tr><td>平成23年12月3日</td><td>地元住民</td><td>約30名</td></tr>
</table>

出雲じいさまだ遺跡　出土品の解説

大友遺跡群　遺構の解説

近岡遺跡群　遺構の解説

切山城跡　遺構の解説

4. 組織

所長（1）― 所長補佐（1）― 職員（7）（2名は文化財保護課兼務）

金沢市都市政策局歴史文化部
文化財保護課長が兼務

平成23年度
金沢市埋蔵文化財調査年報

平成24年3月30日発行

発行　金沢市
編集　金沢市埋蔵文化財センター
〒920-0374
金沢市上安原南60
TEL：076-269-2451
FAX：076-269-2452
Mail：maibun@city.kanazawa.lg.jp